

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部	区民部	課	区民課
---	-----	---	-----

施設名称	〔1〕 東京都台東区立浅草公会堂					
指定管理者の名称	明治座・野村不動産パートナーズグループ	指定期間	H26.4.1 ~ H31.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	(株)明治座： 演劇興行 飲料ケータリング事業 不動産賃貸・管理事業 ほか 野村不動産パートナーズ(株)： 不動産総合管理及び運営業務 不動産コンサル タント業務 不動産の建築、修繕更新等にかかる工事請負 ほか					
(2)類似施設の管理実績	(株)明治座： 明治座ほか 野村不動産パートナーズ(株)： 中野区文化施設3館、国分寺市立いずみホールほか					
(3)経営状況	26年度決算(株)明治座は25年9月1日～26年8月31日) (株)明治座： 営業収益6,462,378千円、営業費用6,197,962千円 野村不動産パートナーズ(株)： 営業収益71,380,522千円、営業費用66,119,393千円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区浅草1-38-6					
(2)設置目的	区民の福祉を増進し、文化の向上を図る					
(3)利用者	区民をはじめとした多くの方々					
(4)開館日・時間	年末年始、臨時休館日を除く全日 9時から21時まで					
(5)規模	延床面積 12,185.69㎡ SRC造 一部RC造 地上5階地下2階 塔屋2階 ホール(1,082席) 第1・第2・第3集会室(各105.8㎡) 展示ホール(173㎡)					
(6)人員体制	明治座：常勤 6名 その他(パート含む)8名 野村不動産パートナーズ：常勤 7名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	(1)公会堂の施設、付帯設備及び物品の保全並びに調整に関すること (2)公会堂の場内整理に関すること (3)公会堂内の清潔、整頓その他環境の整備に関すること 等					
(2)自主事業	(1)和太鼓集団「鼓童」公演(6月実施) (2)殺陣体験教室(したまち演劇祭に合わせ9月に2回実施) (3)お芝居みたいな!絵本朗読教室(10月に2回実施)					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	99,000,000	99,000,000	99,000,000	99,000,000	101,000,000
	利用料金収入	127,400,000	127,400,000	133,040,000	135,255,000	138,000,000
	その他収入	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,460,000	4,971,000
	管理経費	228,900,000	228,900,000	234,540,000	236,715,000	243,971,000
決算	委託料	99,000,000	99,000,000	99,000,000	99,000,000	101,000,000
	利用料金収入	129,657,629	135,926,670	146,116,753	143,412,199	143,281,322
	その他収入	2,101,674	2,210,067	2,111,024	1,915,025	6,339,458
	管理経費	228,557,661	236,543,451	241,856,475	240,264,851	243,962,134
	収支	2,201,642	593,286	5,371,302	4,062,373	6,658,646
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
開館日数	日	361	359	359	359	
ホール利用可能単位	単位	978	954	954	951	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度	
ホール利用率(利用単位/利用可能単位)	%	80.0	84.0	80.1	80.4	
集会室利用率(利用単位/貸出可能単位)	%	50.0	48.6	48.5	52.4	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

集会室、展示ホールの利用促進を図るため、新たなチラシを作成し、公会堂内及び他の区有施設に設置した。また、利用者サービスの向上のため、エントランス受付に検索用PCを設置し観光客からの問い合わせに素早く対応できるようにするとともに、エントランスで使用できる無料Wi-Fiも整備した。さらに、外国人観光客の増加に対応し、3か国語用のコミュニケーションボードを作成し、エントランス受付と管理事務所受付に設置した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [3]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [3]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	設備保守点検等をホールの予約のない日や閑散期に実施することにより、効率的な運営を行った。また、防火・防災訓練等にも積極的に取り組んでいる。
(2)施設の維持管理	A	「省エネ」活動を施設管理を励行する上で重要項目と着目し、利用者の施設利用に支障がない範囲での空調運転の効率化に努めた。また、引き続き予防保全に取り組み、適切な施設の維持管理に努めている。
(3)利用者の満足度	S	PR効果等により集会室・展示ホールの利用率の改善が図られた。また、利用者からの意見・要望を集約した「ご意見ノート」を活用し、指定管理者で可能なものについては迅速に対応している。
(4)収入支出	A	ホールの利用は引き続き高い水準を維持しており、利用料金収入も前年度並みで予算を上回っている。また、施設管理で省エネに努めたが、消費増税と電気料金の値上げにより光熱水費について支出増となった。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	施設の利用率は高い水準を維持している。また、管理経費の効率化にも取り組んでいるため収支状況も適正である。利用者アンケートの評価も概ね適正であり、事業運営及び施設管理は適切に実施している。
-----------	---

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

引き続き、利用率の向上や管理経費の効率化について指定管理者と協議を進めていきたい。今後も利用者のニーズの把握、満足度の向上に努め、適切な事業運営、維持管理を行っていく。